産山村立産山学園
学　園　便　り

わだち

令和2年10月23日　第27号

我が家を語る

今日は、この場を借りて我が家を語ってみたいと思います。それも我が家のメディア環境（テレビ）を・・・

私は、3人の子どもに恵まれました。長女、長男、二男の3人です。

さて、我が家の居間にはテレビがあります。もらった大きなテレビなのですが、残念なことにテレビはつきません。映るのですが、電源が入ることはありません。我が子たちは、そんなテレビが映らない環境で育ちました。もちろんゲームもありません。

それでも、テレビがつくことがあります。それは、○○dashとイッテ○くらいで、そんな環境で育った子供たちも一番下が高校2年生になりました。夢があり、がんばっています。

私たち夫婦は心配したことがあります。「こんなにテレビを見ない家庭の子が他の子と話が合うのだろうか？疎外感を味わうことがあるのではないか？」

でも、それは杞憂でした。我が子たち曰く「そんな時間はないよ。心配しなくて良いよ。テレビを見る見ないで分けるような友だちはいないから。」

みなさん、ご自分のご家庭の子育てにもっと自信をもちましょう。迷ったら、お話ししましょう。　　村上　拝

力走！郡市中体連駅伝競走大会！

10月20日（火）、快晴の中、農村公園あぴかにおいて、阿蘇郡市中体連駅伝競走大会が開かれました。

どんなに苦しくても必死に前の選手にくらいつく選手！気迫あふれる力走でタスキをつなぐ選手！声が枯れるほど仲間を応援する控え選手！

結果は、男女そろってW敢闘賞！男女ともに昨年のタイムを上回る走りでした。星山教育長先生、村上校長先生をはじめ、監督の冨永先生、コーチの市原教頭先生、藤田先生、その他応援の先生方は、一生懸命にタスキをつないだチームを讃えました。「控え選手も含めてチーム全員で勝ち取った敢闘賞！本当におめでとう！」「コロナ禍で練習制限があった中、タイムを縮めたことはすごいこと」「感動をありがとう。この頑張りをぜひ次へ！」

9年平田主将は、「6、7、8年生には、今年のタイムをぜひ超えてほしい」と後輩にエールを送りました。

女子アンカーの7年まゆかさんは「最後までタスキをつなぐことができてよかったです」、男子アンカーの7年ゆうせいくんは「みんなが一丸となっていい走りができました」と、大会を振り返りました。　応援してくださった多くの皆さん。ご声援ありがとうございましたした！　　今村　拝

